

子どもたちの自己肯定感を高めたい

松戸市立栗ヶ沢小学校 校長

いまむら よしお
今村 好夫

栗ヶ沢小は昭和44年4月開校で、来年度創立40年を迎えます。現在の児童数は435名ですが、昭和50年には1800名近く在籍し、51年に貝の花小が開校した後も1300名前後が続いたので、ずいぶん少なくなったものです。

小学校には子どもの笑顔と明るい歓声が合っていますが、だれもがその状態にあるというのは難しいことです。学年が上がるにつれて、人と比べ自分の弱点にも気づき、悩みを持つ子や自信を喪失する子も出てきます。自信をなくす要素のひとつに学習があります。基礎学力の定着は重要なことですが、テストの点数で子どもを評価することに比重がかかりすぎているように思えてなりません。100点満点で70点取れたとき、取れた70点を褒めずに取れなかった30点を責めていませんか。この繰り返しは、子どもにダメージを与えます。子どもを丸ごと見ることが大事です。やさしさ・思いやり・学力・体力・様々な技能…、子ども一人ひとりにはその子が持っている素晴らしい点が必ずあります。それを引き出し伸ばすことが重要で、栗小では子ども一人ひとりの**自己肯定感を高める努力**をしています。

地域の皆様には、子どもたちの安全・安心・健全育成のためにご支援をいただいておりますが、善いことは褒め、悪いことは諭すという姿勢でこれからもよろしく願いいたします。